

5 W 1 Hによる情報伝達のパターン

W ho (だれに伝えるか)	W here (どこで伝えるのか)	W hat (何を伝えるのか)	W hen (いつ伝えるのか)	W hy (なぜ伝えるのか)	How (どのように伝えるのか)	特徴 (長所 短所)
情報伝達 1 「学校までの道のりを伝える」						
中学時代の友人	自宅 (発信) 自宅 (受信)	学校までの道のり	休日の昼間	学校祭を見に来てもらう為	直接会話や身振り手振り メモ書き	相手がどの程度理解しているのかの状況が声や表情から把握できる。
中学時代の友人	自宅 (発信) 友人宅 (受信)	学校までの道のり	休日の昼間	学校祭を見に来てもらう為	電話	相手がどの程度理解しているのかの状況が声から把握できる。
中学時代の友人	自宅 (発信) 友人宅 (受信)	学校までの道のり	休日の昼間	学校祭を見に来てもらう為	手紙	情報が届くまで時間がかかり、相手の状況が把握できない。しかし心を込めた内容を伝えることができる。
中学時代の友人	自宅 (発信) 友人宅 (受信)	学校までの道のり	休日の昼間	学校祭を見に来てもらう為	F A X	瞬時に情報が届くが、相手の状況が把握できない。
中学時代の友人	自宅 (発信) 友人宅 (受信)	学校までの道のり	休日の昼間	学校祭を見に来てもらう為	メール (自作の地図を貼付する)	瞬時に情報が届くが、相手の状況が把握できない。
中学時代の友人	自宅 (発信) 友人宅 (受信)	学校までの道のり	休日の昼間	学校祭を見に来てもらう為	メール + H P (メールで学校 H P アドレスを教えて、アクセス方法を閲覧してもらう)	瞬時に情報が届くが、相手の状況が把握できない。
情報伝達 2 「学校までの道のりを伝える」						